

令和5年度第1回 田辺市障害者施策推進協議会 会議録

日 時 令和5年7月4日 火曜日 午後7時28分～午後9時8分

場 所 田辺市民総合センター 1階 機能訓練室

出席委員 27名

欠席委員 なし

事務局 障害福祉室 柳本室長、栗山参事、植田係長、山田主査

会議事項

1 開会

2 委員の委嘱

3 会長の選出

4 議題

(1) 令和4年度における障害者施策の実施状況について

- ・ 障害者福祉施策の実施状況と今後の課題について
- ・ 障害福祉計画の各サービスの実績について

(2) 田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定について

- ・ 障害者計画、障害福祉計画及、障害児福祉計画の概要について
- ・ 策定スケジュールについて
- ・ アンケート調査(案)について

令和5年度田辺市障害者施策推進協議会（以下、「協議会」という。）の次第に沿って、柳本室長が司会進行を行い、古久保保健福祉部長（協議会委員）が開会の挨拶を行った。

続いて、柳本室長から委員の紹介を行った。なお、委嘱状及び任命状の交付は、机上配布にとどめた。

続いて、会長の選出について委員の互選により行った。委員から事務局一任との声があったため、和歌山県自閉症協会の久保委員を推薦したところ、出席委員の過半数からの拍手及び異議なしとの声をもって承認された。

進行が久保会長に移り、まず、会長の職務代理者として、西牟婁圏域自立支援協議会の米川委員が久保会長より指名された。

続いて、植田係長から、委員の出欠について、27名の委員全員が出席しているとの報告があり、過半数の出席により、会議が成立していること確認された。

議題に移り、(1) 令和4年度における障害者施策の実施状況について、障害者福祉施策の実施状況と今後の課題について山田主査から、障害福祉計画の各サービスの実績について栗山参事から説明したところ次の質疑応答があった。

● A委員

防災まちづくり課で実施している家具転倒防止金具等取付事業について、南海トラフ巨大地震のような直下型ですと家具が転倒して亡くなることが予測され、命を守るために、固定率の向上を図ることが大切だと考えます、固定率を把握されていますか。

○事務局

固定率までは把握していませんが、担当課では、家具固定率の向上と制度の周知を今後の課題に挙げています。

●A委員

引き続き固定率向上にとりこんでいただきたい。続いて、地域生活支援事業のうち成年後見制度法人後見支援事業について、計画では「無」となっていますが、令和4年度実績では「有」となっているので、内容を教えていただきたい。

○事務局

計画策定時には法人後見を実施する予定はなかったが、令和2年10月から高齢者の普及啓発事業について田辺市社会福祉協議会に委託し、令和4年度から、障害者も対象として、一体的に普及啓発に取り組んでおり、関係者の研修会も実施したので、実績としては「有」となっています。制度の啓発と併せ、市民後見についても普及啓発を図っていこうと研修会を行いました。受け手の育成が今後の鍵となってくると考えます。

●A委員

普及啓発については、セミナーとか講師を招いて実施するなどの手法もあるかと思うので、引き続き取り組んでいただきたい。

●会長

成年後見については、普及啓発を進めるうえで、メリットとデメリットも併せて周知していただきたい。特にデメリットについては、一度後見を決めると容易に止められないといった注意事項も十分に説明していただきたい。

●B委員

コロナの影響とは思いますが、デイサービスの実績値がかなり少なくなっている。その間、利用していた方は、家庭などで過ごされたと思うが、こんなにも大きな影響が出ていたのかと驚いた。そうした捉えでよいですか。

○事務局

新型コロナウイルスの感染拡大で、令和2年度から3年間、大きな影響を受けた。特に令和4年度においては当地域でもクラスターがかなり発生し、事業所そのものが休止となる例が多かった。障害福祉施設においても10件には満たないもののクラスターが発生した。その影響での利用控えや、家族の感染で濃厚接触となつての利用控えのほか、事業所のほうが受け入れ態勢を確保できない、特に重度の基礎疾患がある方など事業所の受け入れ態勢が取れないといった事例があり、このように実績値が下がってきたところです。この間、各家庭等の負担が大きかったと考えるが、代替の支援策もないことから、なんとか対応していただいた状況と推察しています。

●会長

コロナについては、令和2年度の後半ぐらいと、令和4年度ではだいぶ状況が変わった。初期のデルタの頃は、高い重症化率で感染不安も大きく、施設においても職員の補充に退職者を充てるなど苦慮した。オミクロンになり、感染率は依然高いが、重症化率が低くなりだいぶ状況は変わってきた。今から30年前を考えると、そもそもデイサービス自体がない状況であったので、いろんな意味で、考えながらサービスを利用されたのではないかと思います。

以上で、議題(1)に対する質疑は以上で終了し、続いて、議題(2)田辺市第4期障害者計画、第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定について、障害者計画、障害福祉計画及、障害児福祉計画の概要と策定スケジュールについて山田主査から、アンケート調査(案)について委託事業者から説明したところ次の質疑応答があった。

●C委員

問8-2にある「非定型精神症」は「非定型精神病」ではないですか。また、最近は使わないように思います。また、問13「これまでの生活を続けたい」の選択肢は抽象的であり、環境についてなのか、場所の設問なのか答える方が戸惑いはしないでしょうか。

○事務局

問8については、再度確認しまして、適切な名称にします。問13については、過去のアンケートで、「今までのままでよい」という記載が多く、選択肢として設けたが、他の設問との関連も考慮し、設問を検討いたします。

●会長

自閉症スペクトラムでは、自閉スペクトラム症に代わっています。

●B委員

前回は調査票が送られてきたときに、大人がみてどのように説明していいかわからない。どれだけ理解ができて、答えられているのか。

●会長

この問題は、アンケートをつくるにあたってたくさん議論となった、実際誰が書くのかということです。子どもの気持ちになって書いてくれるのはいいのですが、実際に子どもの気持ちと親の気持ちが違うケース、親の希望と子どもの願いが違ったり、非常に悩ましい。

○事務局

アンケートについては設計等を委託していますが、見やすいレイアウトや簡潔な設問等、答えやすい工夫をお願いしています。親御様が記入いただいている場合はお子様の視点に沿った回答をお願いいたします。

●B委員

強度行動障害という診断の名称はないと聞いたのですが、強度行動障害についての診断という表現で良いのでしょうか。

○事務局

強度行動障害については、精神科的な診断名ではなく、一般には状態を示す表現であると考えますので、設問を改めてまいります。

●会長

強度行動障害という障害名はありません。状態です。委員の認識で間違いありません。

●D委員

医療的ケアについては、通院も含まれますか。

●会長

これは、医療的ケア児のことを考えて書いているのでしょうか。

○事務局

問9については、医療的ケア児のことを意識した設問です。また、通院の有無については、後半に設問を設けていますので、重複した質問と誤解されないよう検討します。

●会長

そのあたりを、わかりやすくしておいてください。

●E委員

「該当するものはない」という選択肢について、なくてもよいのではないですか。

○事務局

「該当するものはない」を削除してしまうと、その他で「ない」と記載される場合が多いので、考えさせていただきたいと思います。

●会長

単に「該当するものはない」という選択肢が必要であれば、「1～8までの中に該当するものはない」とすればいかがですか。よろしく申し上げます。

●A委員

全体的なお話しですが、対象者数を教えていただきたいのと、回収率について、前回の調査は47.7%と半分に達していないことについて、それについてどう捉えているのか。また、調査方法は郵送配布、郵送回収のみかという点をお聞かせください。

○事務局

回収率は前回 50%を切っていますが、障害関係の事業所にも協力を要請してまいります。

また、QRコードからインターネットによる回答できる方法もありますので、検討してみます。

●A委員

アンケートの結果は当事者様の声だと思いますので、回収率の向上にはぜひ努めていただきたいと思います。

以上で、議題(2)に対する質疑は以上で終了し、続いて議題(3)その他について、事務局から協議会の開催について次の提案があり、それに対し委員から意見が出された。

○事務局

計画策定のため、本年度あと数回の協議会を予定しております。本協議会は、慣例的に夜間に開催しておりますが、委員のみなさまのご都合がよろしければ、次回以降、昼間の時間帯に開催いたしたく考えております。年間の会議の日程については、あらかじめお示しさせていただきます。いかがでしょうか。

●会長

昼間の時間帯ということであれば、何時くらいからですか。

○事務局

13時30分からと考えております。

●F委員

昼間だと仕事をしている人もいらっしゃると思いますので、夜の方が良いかと思いますが、どうでしょうか。

●G委員

昼間の開催であるとほぼ出席がかなわないので、夜のほうありがたいです。

議題(3)その他に関し、挙手により賛意を問うたところ、夜間の開催を希望する委員が6名、昼間の開催を希望する委員が4名、その他は賛意を保留した。

●会長

夜のほうが人数が多いので、今までどおり夜の開催ということによろしいですか。

一同、異議なく了承。

以上をもって閉会となる。